

サステナブルな社会に貢献する ファイナンスの実践

2024年5月15日
株式会社滋賀銀行
常務取締役 遠藤 良則



環境大臣認定 エコ・ファースト企業

“しがぎん”の概要

| | |
|--------|---|
| 設立 | 1933年(昭和8年)10月1日 |
| 歴史 | 1879年(明治12年)第百三十三国立銀行設立 |
| | 1881年(明治14年)八幡銀行設立 |
| | 1933年(昭和 8年)滋賀銀行設立 |
| 総資産 | 7兆9,705億円 |
| 従業員数 | 1,875人 (出向者除く) |
| 店舗数 | 133カ店 (うち代理店33カ店、海外 香港支店) ※拠点数 : 108 カ店 |
| 預金残高 | 5兆8,466億円 |
| 貸出金残高 | 4兆4,951億円 |
| 自己資本比率 | 15.70% (連結) |
| 格付 | A + (JCR) |
| | A + (R&I) |

滋賀銀行グループのパーパス

「三方よし」で
地域を幸せにする

環境省「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」
5年連続受賞 (2020~2024)



第5回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」
間接金融部門 銀賞(環境大臣賞)

国際統一基準行

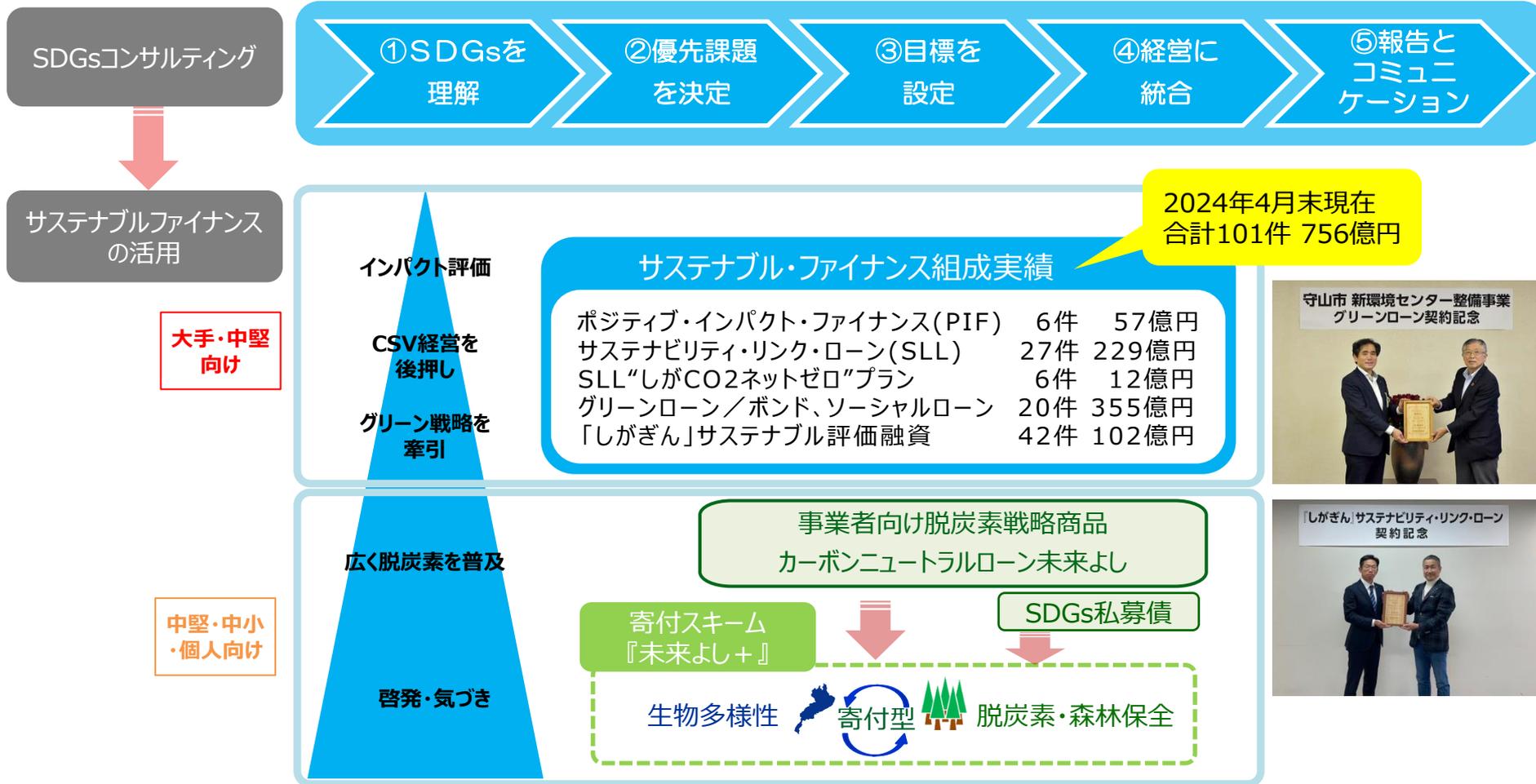
2024年3月31日現在

「三方よし」で地域を幸せにする
Sustainability Design Company

SHIGA BANK

サステナブルファイナンスの取り組み

事業者、消費者、行政などさまざまな主体、取組状況に応じて、脱炭素やSDGsの啓発、戦略・対策支援、伴走支援により資金需要の喚起とファイナンスを通じたソリューションを提供しています。

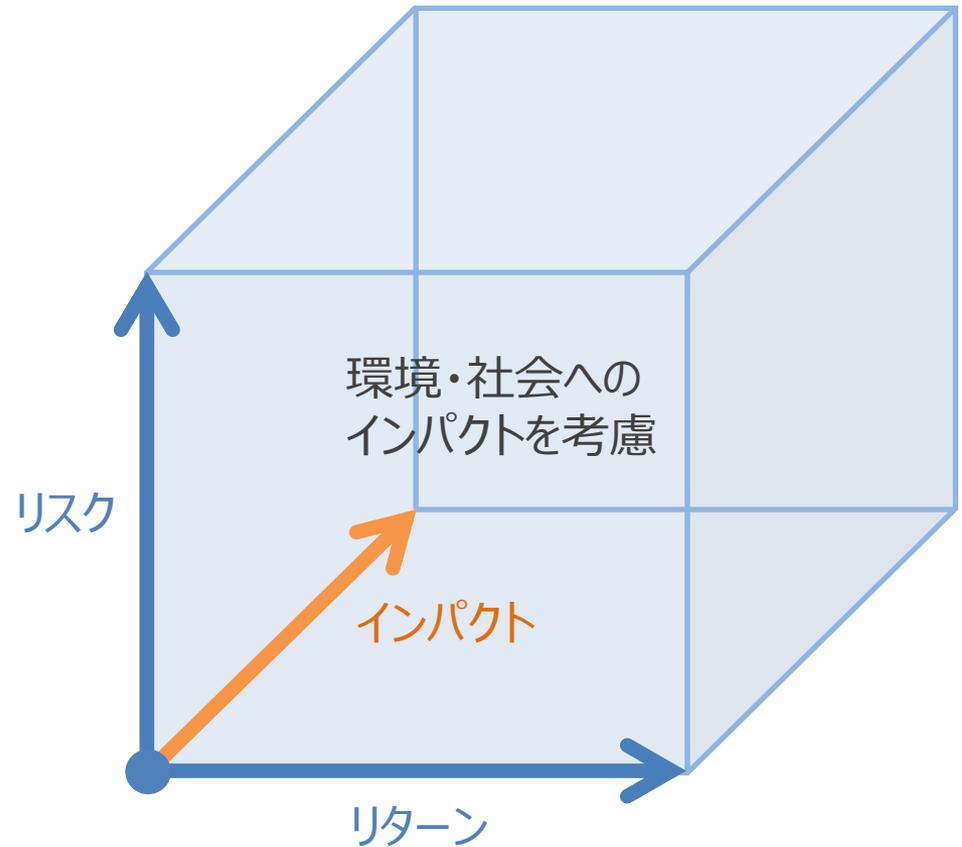
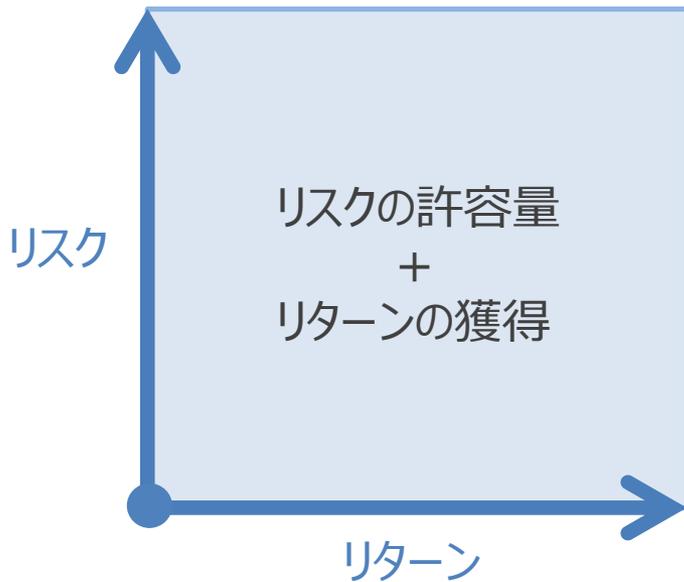


インパクトを重視したファイナンスへの移行

リスク・リターンによる判断



インパクトを考慮した判断



地域課題を解決するビジネスの支援

— 地域の課題例 —



若者の地方離れ



貧困・格差



観光振興

— 企業による解決事例 —

地方における
雇用機会の創出
グランスノー奥伊吹



子ども食堂の運営
野洲のおっさんおにぎり食堂



地域資源の活用

NIPPONIA 五個荘 近江商人の町



滋賀県における課題解決型人材の育成

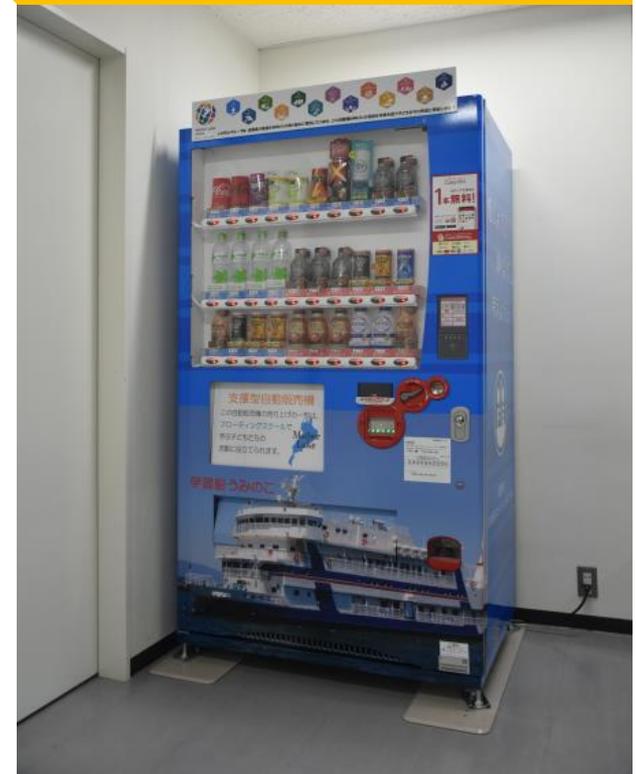


びわ湖フローティングスクール

環境学習船“うみのこ”に乗船し、びわ湖やふるさと滋賀について様々な体験学習を通して学ぶ“びわ湖に浮かぶ学校”。

県内すべての小学校及び特別支援学校、各種学校の5年生が参加し、交流するライフイベント。

うみのこ自販機を飲料大手と共同企画し、本店に2台設置
売上の1%が「びわ湖フローティングスクール」に寄付されます



琵琶湖モデル

世界の水環境の課題解決に貢献

水環境保全と適切な利用

地域経済の発展

1 住民の取組

- 環境学習
- 石けん運動
- ヨシ群落の保全
- 琵琶湖一斉清掃
- 河川流域の保全活動 など

2 行政の取組

- 条例による規制や制度設計
- 排水事業者の監視
- 環境白書
- 下水道の整備
- 水道・農業用水の整備
- 環境学習

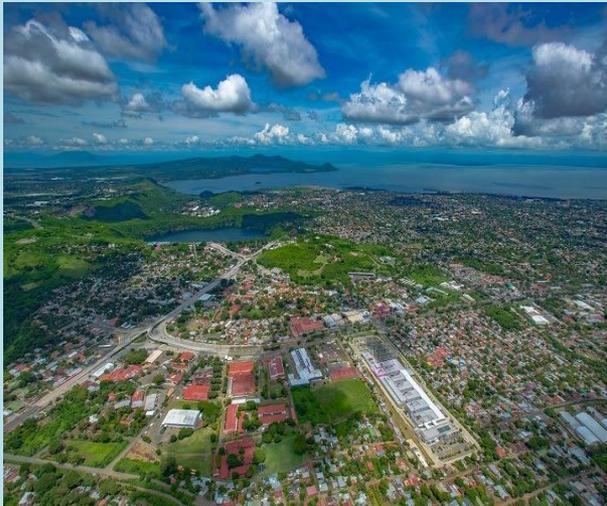
3 企業(工場等)の取組

- 法令遵守
- ISOによる環境管理
- 自主検査と管理の徹底
- 行政や企業間のネットワーク構築による環境改善努力 など

4 大学等研究機関、 水環境関連企業の取組

- 調査研究
- 技術開発
- 知識、情報、技術、ノウハウの創出、蓄積、提供
- 水環境商品・サービスの開発

出典：滋賀県HP



出典：JICAホームページ

日本の技術で途上国の課題を解決する取り組み

民間企業提案型事業制度を活用した海外展開支援

インドにおける水質管理の改善を目的として実施する「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」への採択及びビジネス環境の調査を銀行としてサポート。

取引先の技術を活かした海外進出支援



インド国内の水衛生環境の改善



中小企業の海外進出における課題



進出企業の課題

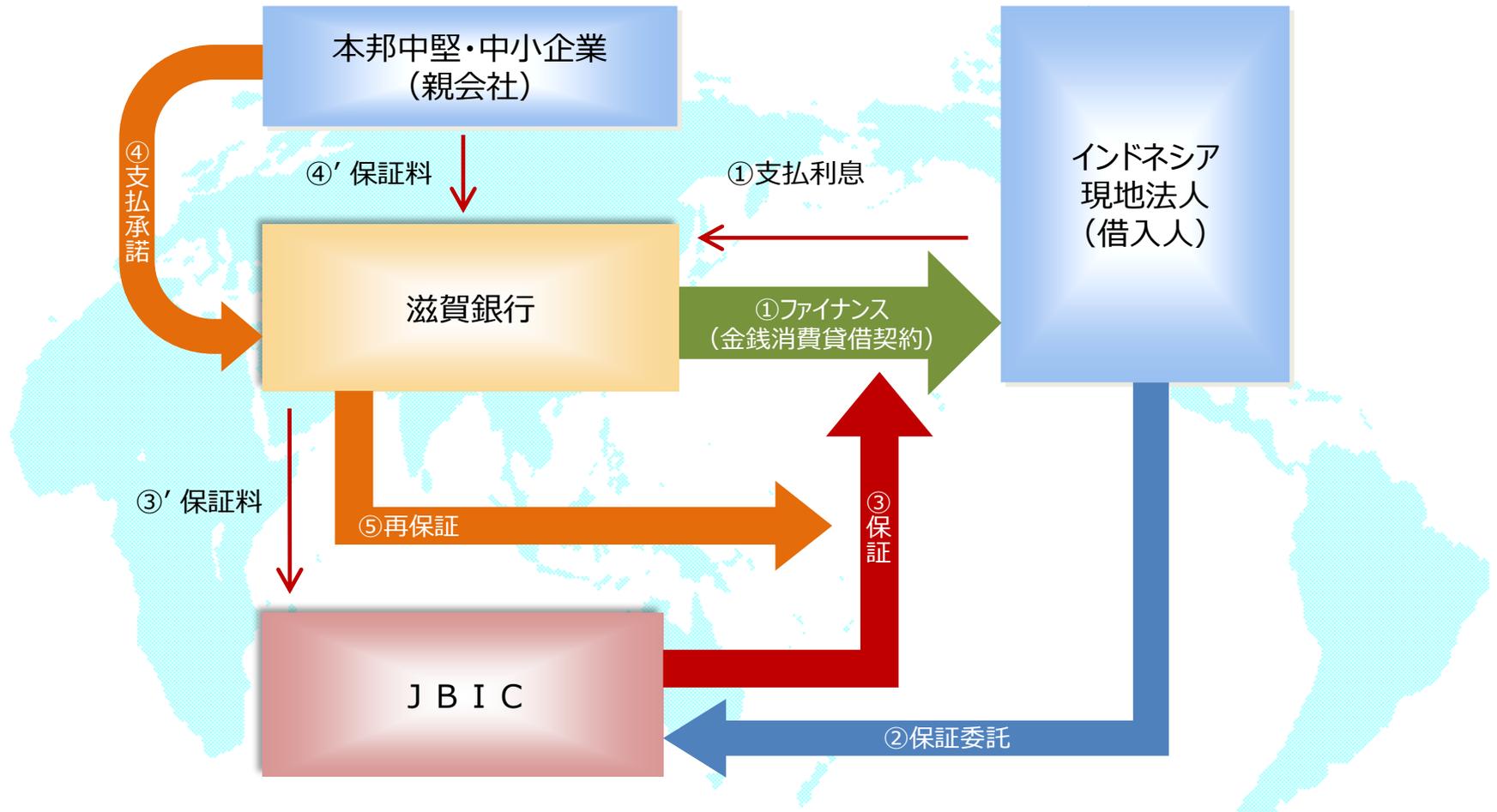
- ・情報不足
- ・事業性の判断（人員、資本）



金融機関の課題

- ・情報不足
- ・現地規制への対応
- ・事業性の判断
- ・マネーロンダリング対策

JBIC保証による現法向けファイナンススキーム



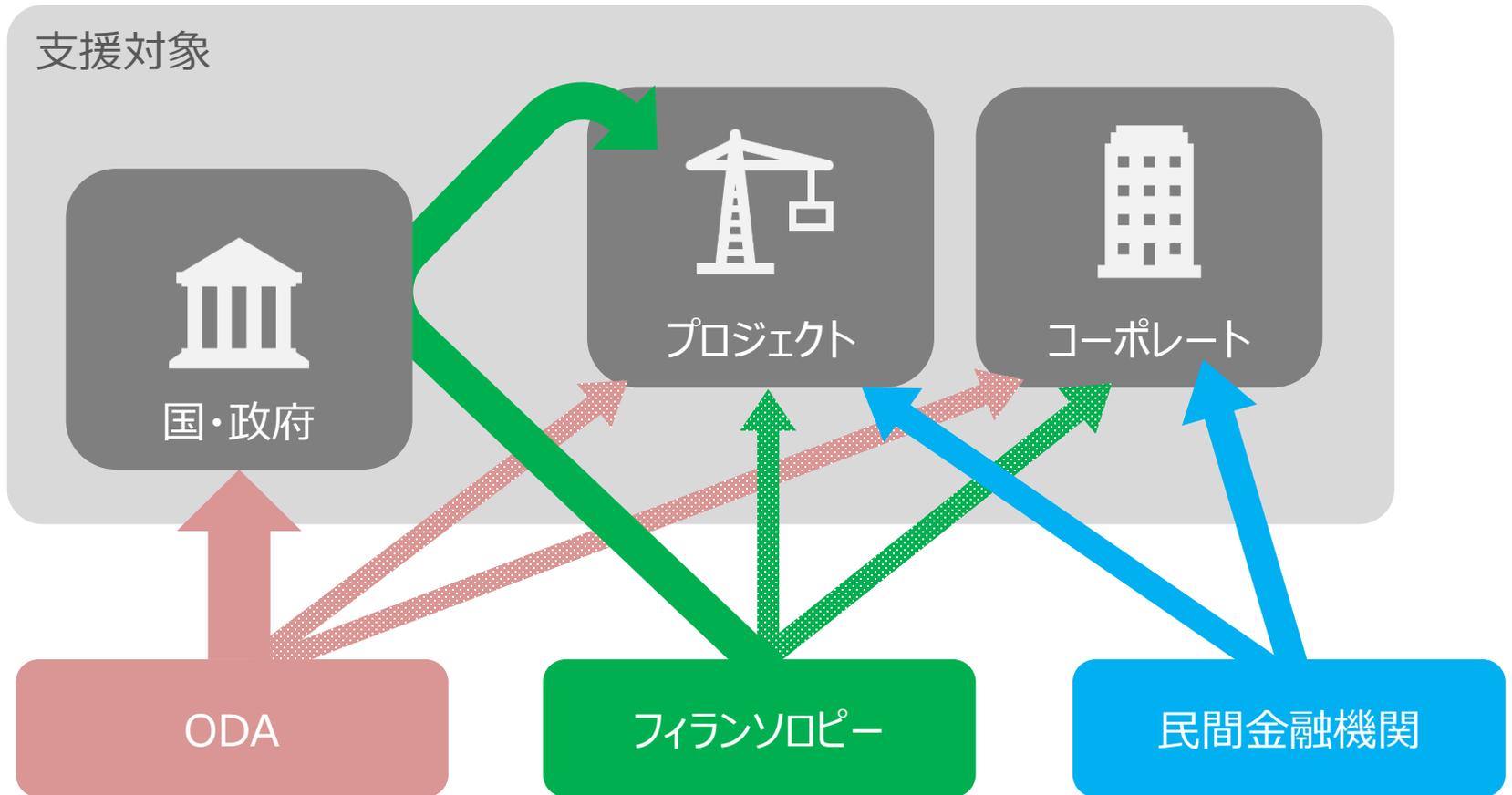
- ① 金銭消費貸借契約証書 (当行⇔現法)
- ② 保証委託契約書 (JBIC⇔現法)
- ③ 保証契約証書 (JBIC⇔当行)

- ④ 支払承諾契約証書 (当行⇔親会社)
- ⑤ 再保証契約証書 (JBIC⇔当行)

JBICとの連携実績（2014年度～）

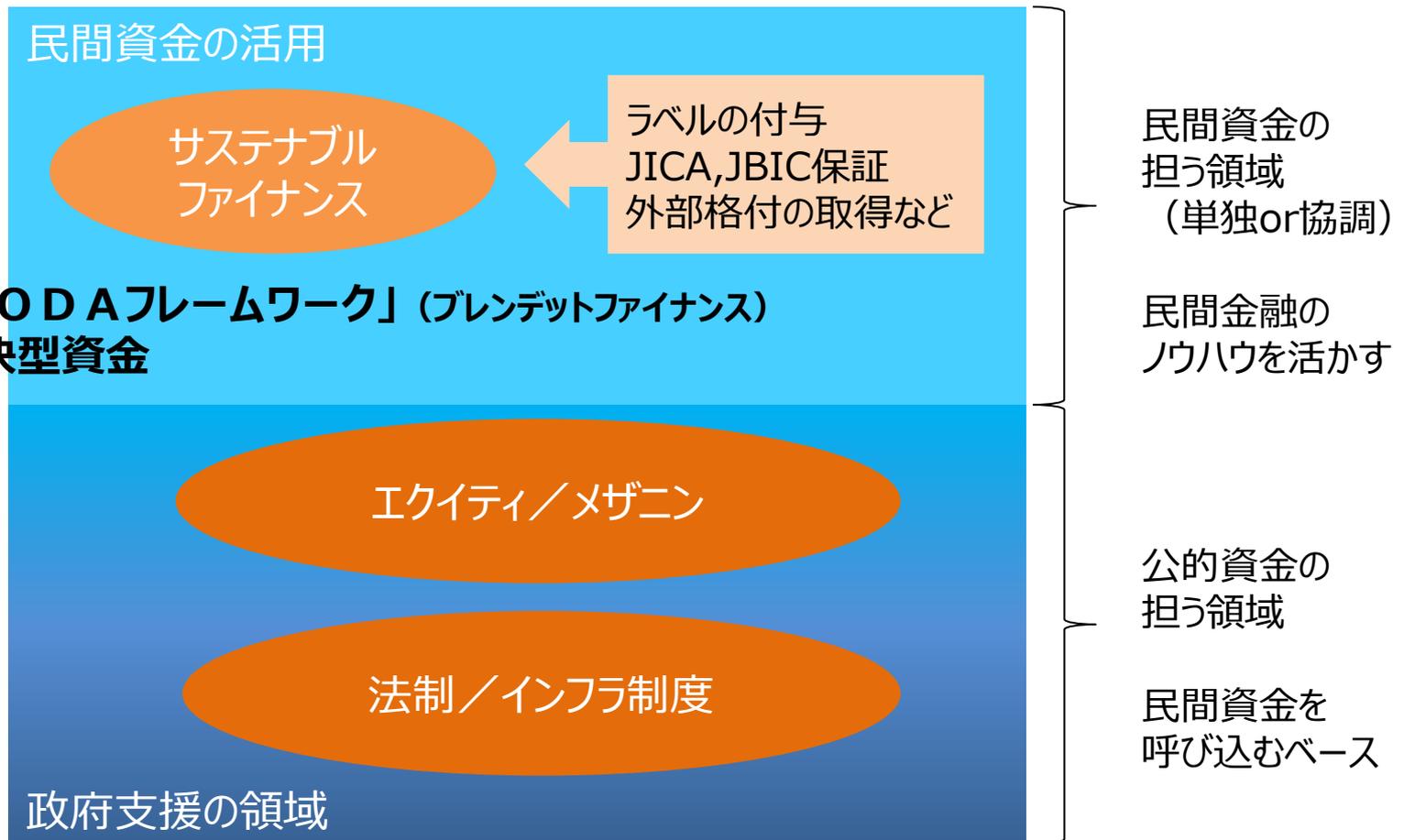
| ツーステップローン | 対象国 | 件数 | 金額 |
|-----------|--------|----|-----------|
| | アメリカ | 1 | 3000万米ドル |
| | メキシコ | 1 | 300万米ドル |
| | インドネシア | 2 | 300万米ドル |
| | ベトナム | 1 | 100万米ドル |
| | タイ | 1 | 20万米ドル |
| | 合計 | 6 | 3720万米ドル |
| 協調融資 | 対象国 | 件数 | 金額（日本円換算） |
| | メキシコ | 3 | 25億4889万円 |
| | タイ | 21 | 24億8729万円 |
| | ベトナム | 15 | 22億7672万円 |
| | 中国 | 9 | 16億1800万円 |
| | インドネシア | 5 | 6億7900万円 |
| | マレーシア | 5 | 3億588万円 |
| | カンボジア | 2 | 7583万円 |
| | 合計 | 60 | 99億9161万円 |

サステナブルファイナンスの発展に向けて



資金の出し手による特徴や違いを整理し、
インパクトを最大化する枠組みをデザイン

民間資金導入に向けた公的資金の活用



法制やインフラ制度が未整備だと、リスク変数が多くなり過ぎてプロジェクトファイナンスとして組成が困難。



土台となる部分の整備をODAの一環として対応することことで、民間資金供与の機会が増加。

「三方よし」で地域を幸せにする
Sustainability Design Company

| SHIGA BANK

ご清聴ありがとうございました。